第6回　奈良めぐりの会

『竹ノ内街道を歩いて　當麻寺へ』　参加報告

令和４年１１月１９日　土曜日　近鉄南大阪線磐城駅　１０：００集合

総勢１５名で　秋の紅葉が美しい竹ノ内街道を歩いて　當麻寺に向かいました

奈良めぐりの会は、奈良の遠いところで開催されていると思っていましたが、

私は當麻寺の近所で生まれ育ったので、平越真澄先輩からガイドを仰せつかりました。

学術的なガイドはできませんでしたが、昔からのしゃばっ気の多い説明をいたしました。

1. 長尾神社

最古の官道の重要拠点で、司馬遼太郎の『街道を行く』にも出てきます

近所で、真珠湾攻撃で『トラトラトラ』を打電した、淵田三津雄氏が生まれました

戦後、キリスト教の伝道者として平和の大切さを広められました

1. 綿弓塚　竹ノ内街道

松尾芭蕉が門人の千里の家に何度か逗留した時に読んだ句碑。

竹ノ内街道沿いにあります。近くには司馬遼太郎の母親の実家があり

司馬さんも幼少期を過ごされました『街道を行く』より

また、江戸時代に有名であった親孝行娘　孝女伊麻の旧跡があり、松尾芭蕉も大層感動され、吉野の帰りに来られましたが　衣装を売ってお金を孝女伊麻にお布施しました

1. 當麻寺

２０１４年１月にＪＲ東海が放映した『いま、ふたたびの奈良へ』ＣＭより

＊なぜ、二上山のふもとに極楽浄土をつくったのか

＊なぜ、この寺の本尊は曼荼羅なのか

＊なぜ、この伽藍から南門は消えたのか

當麻寺　不思議の力に引き寄せられて　『いま、ふたたびの奈良へ』

これ以外にも不思議な面白い話

＊當麻寺はもともと役行者が初めて修業をした場所であり、陀羅尼助発祥の

　場所であること

＊この製法が中将姫により宇陀の藤村家に伝わり、のちに東京でツムラ順天堂になり、

　バスクリンなのどのお姫様マークは當麻寺の中将姫であること

＊當麻寺は真言宗と浄土宗の２つが運営しており、このような寺は善光寺、宇治平等院しかないこと　真言５塔頭　浄土８塔頭

＊もとは奈良時代の三論宗でしたが、弘法大師が来られ真言宗になったこと

＊本堂の曼荼羅堂は奈良時代、平安時代、鎌倉時代の時代に渡って建てられたこと

＊平家の南都焼き討ちの影響で、東塔、西塔、曼荼羅堂（本堂）以外は焼失したこと

＊鎌倉時代に源頼朝の援助で復興し、本堂の国宝の須弥壇には螺鈿細工で『源』と

　装飾されていること

４，有名な『中将姫伝説』について

＊中将姫が極楽浄土に帰っていく様子を伝える『聖衆来迎練供養会式』は地元出身で

　『往生要集』を著した恵心僧都源信が始めたこと

＊練り供養は１００５年より旧暦の３月１４日　夕刻に行われていること

＊当麻曼荼羅を製造するよう言った老婆は阿弥陀如来、織子は観音菩薩

＊曼荼羅完成後１３年後に浄土に迎えに来ると伝えて消えたこと

＊１３年後の３月１４日に２５菩薩が中将姫を迎えに来たこと

＊当麻曼荼羅に感動した法然上人の弟子証空上人が書き写して全国に広めたこと

＊中将姫が継母にいじめられた物語が江戸時代に流行ったこと

＊浄土宗の証空上人が広めたことにより、南北朝時代に浄土宗の塔頭　奥の院が創建

　京都で戦乱が続くので、知恩院の法然上人の宝物を避難させた

　奥の院は當麻寺の奥の院ではなく『京都知恩院の奥の院』であること

などなど、当麻寺の各塔頭のご住職から聞いたお話を、人間関係中心に

面白おかしく、しゃばっ気たっぷりに、解説ガイドさせていただきました

まだまだ面白い不思議な話がありますが、最後までお伝え出来ませんでした。

秋が深まる東塔を借景にした『中之坊』のお庭で、赤い紅葉の下

皆さんと写真撮影ができて良かったです。

最後になりますが、夏の暑い時に下見に行っていただいた平越会長夫婦様、

あまり学術的な説明ができず、裏話やしゃばっ気の多い話にお付き合い頂いた

奈良三田会の皆様に厚く御礼申し上げます。

昭和６０年　商学部卒業

桑　雅宣